

「おっちゃんのマほうカード」の巻を比較する

「ちびまる子ちゃん」について語るときに僕が語ること



いくつかの「おっちゃんのみほうカード」の巻

- **コミックス第1巻「おっちゃんのみほうカード」の巻**
 - ↳ りぼん昭和61年8月号に掲載
 - ↳ 「ちびまる子ちゃん」第1話
- **コミックス第17巻「おっちゃんのみほうカード」の巻**
 - ↳ りぼん平成23年8月号に掲載
 - ↳ ちびまる子ちゃん誕生25周年記念スペシャルリメイク版
- **アニメ29話B「おっちゃんのみほうカード」の巻**
 - ↳ 平成2年7月22日放送
- **アニメ第1317話「おっちゃんのみほうカード」の巻**
 - ↳ 令和3年12月5日放送
 - ↳ 原作35周年！あなたの好きな“神回”さくらももこ原作まつり



「おっちゃんのマほうカードの巻」の大筋

起	学校	夏休みの開幕が告げられる
	下校	まる子の性格が示される
承	公園	メインモチーフが登場 (おっちゃん+まほうカード)
転	さくら家	お話の転換 (+家族の関係が示される)
結	公園	メインモチーフをたたむ
	かき氷	夏休みへの高揚感が示される



学校・下校

平成2年7月版

- ・クラス全体で喜びの声が上がり、生徒たちが教室から勢いよく飛び出す
- ・汗をかきながら苦しそうに歩くまる子の後ろ姿
- ・まる子の横を身軽に歩く生徒たちが追い抜いていく

→夏休みに入った喜びからの落差

令和3年12月版

- ・まる子とたまちゃんが行儀よく返事をする
- ・汗をかきながら苦しそうに歩くまる子の正面の姿
- ・まる子の前方を歩く生徒たちは身軽に歩いている



学校・下校

平成2年7月版

- ・まる子と似た者として姉が登場
 - ・互いに馬鹿にしたり呆れたりしながら同様の振る舞いをする
 - ・まる子「待ってよ～」姉「やだよお～」と言い合いながら絵の距離は離れていない

令和3年12月版

- ・まる子と対照的な性格のキャラとして姉が登場
 - ・姉は荷物が少ない
 - ・まる子が工作でつくった珍妙な人形に対し「どこにも飾らない方がいいね」と呆れる

→姉がしっかり者として印象付けられることでまほうカードのにぎわいに引き寄せられることに違和感が生じる



さくら家

平成2年7月版

- ・お金をせびる姉妹をはなから相手にしていない母
- ・祖父が「内緒でな」とお金をくれる
- ・母「どこが内緒なんだか 筒抜けよ」と苦笑

→母も無関心なわけではない。

令和3年12月版

- ・お金をせびる姉妹を叱りつつける母
- ・姉「もういいよ、私の貯金もっていこ」
- ・まる子「べーっだ」

→親子間のやりとりが喧嘩腰



さくら家→公園

平成2年7月版

- ・母の叱り声をきっかけに姉妹が走り出す
 - ・まる子と姉が手を繋いで一緒に走る

→冒頭で示された「似た者同士≒家族」としての関係性

令和3年12月版

- ・姉の「急ごう！」をきっかけに走り出す
 - ・常に姉が先を走る

→冒頭で示された対照的なキャラクターとしての関係性



公園

平成2年7月版

- ・ 「姉妹の会話」と「うさんくさいおっちゃんとインチキのまほうカードの回想」とが交互に描かれる

→ 「がっかりしたのになんかおかしいのが不思議」を支える説得力

令和3年12月版

- ・ 姉妹の会話だけが描かれる

→ 「なんかおかしい」様子の根拠に欠ける



かき氷

平成2年7月版

- かき氷食べに行こっか→通信簿
→みつや

→「なんかおかしい」の愉快さの流れで「かき氷」が挿入され、道中で「通信簿」を思い出して一度落胆するが、夏休みの高揚感が勝る（冒頭の流れを逆転させた形で反復！）

令和3年12月版

- 通信簿→かき氷食べに行こっか
→みつや

→「なんかおかしい」から「通信簿」を思い出して落胆した気持ちを励ますために「かき氷」が挿入される。



かき氷

平成2年7月版

- ・氷の暖簾の揺れや氷を盛るリズムとほおについてかき氷を待つまる子の頭の揺れとOP曲「夢いっぱい」のリズムが同期する

→「なんかおかしい」の愉快さの流れで「かき氷」が挿入され、道中で「通信簿」を思い出して一度落胆するが、夏休みの高揚感が勝る（冒頭の流れを逆転させた形で反復！）

令和3年12月版

- ・かき氷を注文したところでおしまい

→「なんかおかしい」から「通信簿」を思い出して落胆した気持ちを励ますために「かき氷」が挿入される。

